特定非営利活動法人 栃木県障害者スポーツ協会情報誌　第83号　令和5(2023)年11月30日発行

障害者スポーツ

編集・発行
特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会
URL:https://syospo-tochigi.org/
〒320-8508　宇都宮市若草1丁目10番6号
とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター内
TEL.028(624)2761(FAX兼用)
発　行　人　　駒　﨑　　茂

障害者スポーツスクール　開催！

12月10日(日)　とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(わかくさアリーナ)

スポーツを始めたい障害者のきっかけを作ろうと、栃木県と当協会主催により、11月19日(日)と12月10日(日)にとちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター（愛称：わかくさアリーナ）において「障害者スポーツスクール」を開催しました。同イベントは今年度からの新規事業で、スポーツを始めたい方と競技団体をつなぎ、競技者の裾野拡大や競技力向上を図ることを目的としています。

内容は３部構成で、立ち幅跳びやボール投げなどの体力測定、競技団体等によるスポーツ相談会、スポーツ体験会を行いました。また、2021年開催の東京パラリンピックのローイング（ボート）競技に出場した市川友美選手や、2012年開催のロンドンパラリンピックに車いすバスケットボール男子日本代表として出場した増渕倫巳選手による講演や競技実演を行いました。

開催に際し、御協力をいただきました『とちぎスポーツ医科学センター』『栃木県理学療法士会』『国際医療福祉大学』『栃木県障がい者スポーツ指導者協議会』の皆様に心より感謝申し上げます。

令和５年度『障害者スポーツスクール』

期日：11月19日(日)・12月10日(日)　場所：とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター（わかくさアリーナ）

● 第１部（基礎体力測定）

第１部では、体重、握力、長座、上肢長･肩関節柔軟性、垂直跳び、立幅跳び、メディシンボール投げ、20ｍ走、３分間走などの基礎体力測定を行い、自分の現在の運動能力を知ることから始めました。

● 第２部（競技の実演・体験）

11月19日（日）の第２部では、ローイング（ボート）競技の市川友美（いちかわともみ）選手をお招きし、2016年のリオパラリンピックにローイング（ボート）競技で出場した当協会の駒﨑会長と一緒に、競技の実演も交えながら、講話をいただきました。

特に、「小さなできたを大切に！その一つがおおきな一歩になる」というお話が印象的でした。

市川友美 プロフィール
愛知県西尾市出身。2012 年にスノーボード中の事故で下半身が不自由になり、2016 年に東京都の選手発掘プログラムに参加して競技を始める。2021 年に開催された東京パラリンピックに出場し 11 位という成績を残す。現在は、2024 年のパリパラリンピック大会、2026 年のアジアパラ競技大会出場という大きな目標に向かって日々練習に励んでいる。

12月10日（日）の第２部では、車いすバスケットボール競技の増渕倫巳（ますぶちともみ）選手をお招きし、「障害者になったからこそできることは何か」という演題で講話をいただきました。競技体験では、増渕選手が所属する「栃木レイカーズ」の選手と一緒にバスケットボール用車いすの操作の仕方を参加者にレクチャーしていました。

増渕倫巳 プロフィール
栃木県宇都宮市出身。2003 年に交通事故にあい車いす生活になる。バスケットボール経験者だったこともあり、車いすバスケットボールを始める。2012 年に開催されたロンドンパラリンピックに日本代表として出場。現在は、本県の車いすバスケットボールチーム「栃木レイカーズ」に所属し、若手選手の育成や新規選手の発掘など、競技の普及・振興に尽力している。

● 第３部（競技相談・体験会）

第３部では、参加者が自分に合った競技と出会えるよう、競技団体・チームによる競技相談・体験会を行いました。また、『とちぎスポーツ医科学センター』によるスポーツ医科学相談ブースや『とちぎパラスポーツ推進センター』による障害者スポーツ総合相談ブースを設置し、助言を行いました。

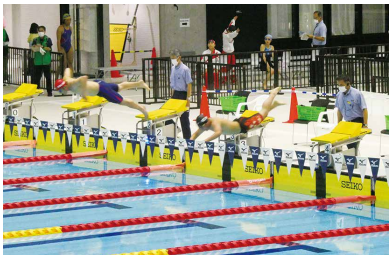
第19回栃木県障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会記念大会）を開催しました！

第 19 回栃木県障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会記念大会）が、9 月 23 日（土）から 11 月 4 日（土）までの計 5 日間、栃木県総合運動公園などの 4 会場で開催され、様々な障害のある選手約 1100 人が熱戦を繰り広げました。今大会は、昨年 10 月に本県で開かれた第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」のレガシー（遺産）として、実施競技を従来の 9 競技から 14 競技に拡充しました。

開会式では福田富一知事が主催者代表挨拶を行い、特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」栃木県選手団の主将の加治佐博昭さんが選手代表宣誓を行いました。

開会式（9/24:カンセキスタジアムとちぎ）

陸上競技（9/24:カンセキスタジアムとちぎ）


水泳（11/4:日環アリーナ栃木）

卓球（9/24:日環アリーナ栃木）

フライングディスク
（9/24:総合運動公園多目的広場）

ボウリング（9/30:宇都宮第2トーヨーボウル）

バスケットボール（知的・女子）
（9/24:日環アリーナ栃木）

バスケットボール（知的・男子）
（9/24:日環アリーナ栃木）

車いすバスケットボール
（9/24:日環アリーナ栃木）

ソフトボール
（9/24:総合運動公園軟式野球場B）

グランドソフトボール
（9/24:総合運動公園軟式野球場A）

バレーボール（身体・女子）
（9/23:日環アリーナ栃木）

バレーボール（知的・男子）
（9/23:日環アリーナ栃木）

バレーボール（精神）
（9/23:日環アリーナ栃木）

卓球バレー（オープン競技）
（10/15:わかくさアリーナ）

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」関東ブロック地区予選会団体競技結果報告

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」関東ブロック地区予選会が４月29日(土)から６月11日(日)にかけて関東各地で行われました。本県代表の団体競技11チームが出場し、３チームが第３位となりました！

バレーボール(精神)

出場種目		結果
バスケットボール(知的)	男子	第３位
	女子	初戦敗退
車椅子バスケットボール(身体)		2回戦敗退
サッカー(知的)		2回戦敗退
ソフトボール(知的)		初戦敗退
グランドソフトボール(身体)		初戦敗退
バレーボール(身体)	男子	不参加
	女子	初戦敗退
バレーボール(知的)	男子	初戦敗退
	女子	初戦敗退
バレーボール(精神)		第3位
フットソフトボール(知的)		第3位

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」栃木県選手団個人競技記録一覧

「熱い鼓動　風は南から」をスローガンに、特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」が、10月28日(土)～10月30日(月)の3日間、鹿児島県にて開催されました。

栃木県選手団は、選手・役員114名が参加し、陸上競技・水泳・アーチェリー・卓球・フライングディスク・ボッチャ・ボウリングの７競技に出場しました。メダルの総獲得数は57個で、金メダル22個、銀メダル18個、銅メダル17個と、昨年の「いちご一会とちぎ大会」に次ぐメダル獲得数でした。水泳競技の吉原未来選手は50m背泳ぎで大会新記録を樹立しました。出場した選手の結果は以下のとおりです。

●陸上競技

氏名	種目名	記録	順位
橋本　杏菜	50m	12秒21	3
	ソフトボール投	8m 76cm	4
吉田　哲朗	100m	22秒09	2
	200m	35秒49	2
関　智博	ソフトボール投	14m 65cm	2
	砲丸投	4m 68cm	4
橘　俊也	50m	10秒29	7
	立幅跳	2m 16cm	1
川俣　禎康	スラローム	1分30秒8	4
	ビーンバッグ投	2m 72cm	5
加治佐　博昭	1500m	5分11秒93	1
	800m	2分36秒27	1
山口　璃癒	走幅跳	3m 98cm	1
	走高跳	1m 26cm	1
石井　隼人	1500m	4分52秒39	1
	200m	25秒60	4
大山　陽輝	1500m	5分23秒05	6
	800m	2分34秒46	5
伊沢　久雄	50m	9秒90	6
	立幅跳	1m 10cm	6
穂積　正江	400m	1分23秒81	6
	200m	35秒44	6

氏名	種目名	記録	順位
木村　勇翔	400m	53秒40	1
	800m	2分02秒11	1
澤田　陽南	400m	1分12秒74	3
	800m	2分35秒37	1
杉本　汐夢	400m	53秒56	1
松下　裕哉	400m	54秒80	4
	100m	11秒87	1
樋山　達也	800m	2分10秒99	5
	1500m	4分30秒81	5
中川　壮気	1500m	4分30秒73	5
	800m	2分14秒82	6
杉田　奏斗	100m	13秒25	7
	200m	26秒68	6
古家　良	100m	12秒69	3
	200m	25秒00	5
古家　俊	100m	12秒91	6
	200m	25秒74	7
坂巻　祐紀	ソフトボール投	35m 71cm	2
	立幅跳	1m 45cm	6
岩渕　比佐人	ソフトボール投	63m 92cm	3
	立幅跳	2m 26cm	6
猪野　大地	立幅跳	2m 44cm	5
	50m	7秒41	6

●水泳競技

氏名	種目名	記録	順位
吉原　未来	25m自由形	21秒67	2
	50m背泳ぎ	大会新 48秒83	1
飯浜　嘉光	25m背泳ぎ	35秒20	1
	25m自由形	42秒03	2
佐藤　汰一	50m自由形	43秒67	4
	25m自由形	19秒95	4
喜井　寛	50m自由形	33秒34	2
	25m平泳ぎ	19秒55	2
植竹　海晴	50m背泳ぎ	33秒18	3
	50m自由形	29秒08	4
	4×50m メドレーリレー	2分33秒67	5
佐藤　洸介	50mバタフライ	34秒70	4
	50m自由形	30秒43	3
	4×50m メドレーリレー	2分33秒67	5
中村　光章	25m平泳ぎ	18秒33	3
	50m平泳ぎ	40秒47	3
	4×50m メドレーリレー	2分33秒67	5
布塚　悠	50m自由形	35秒22	6
	50m平泳ぎ	51秒73	5
窪田　佳子	25m自由形	19秒23	4
	50m自由形	43秒96	3
	4×50m メドレーリレー	2分33秒67	5

●卓球

氏名	種目名	記録	順位
齋藤　容子	一般卓球	2	2
小堀　謙介	一般卓球	3	2
薄井　弘幸	一般卓球	6	1
松岡　一徳	一般卓球	2	2
櫻井　亜叶	STT	4	3
町井　大隼	一般卓球	2	3
藤沼　貴大	一般卓球	4	1
櫻井　伸彬	一般卓球	3	2
薄井　えりか	一般卓球	6	1
石塚　優子	一般卓球	4	1
目黒　晴愛	一般卓球	4	1
川田　恵子	一般卓球	3	2
林　玲斗	一般卓球	3	2

●アーチェリー

氏名	種目名	記録	順位
野澤　信弘	リカーブ30m ダブルラウンド	553点	3
青木　國司	リカーブ30m ダブルラウンド	473点	1

●フライングディスク

氏名	種目名	記録	順位
古口　正文	アキュラシー ディスリート・ファイブ	8投	4
	ディスタンス メンズ・シティング	32m 27cm	1
矢口　キヨ子	アキュラシー ディスリート・ファイブ	6投	6
	ディスタンス レディース・スタンディング	27m 30cm	2
石川　元胤	アキュラシー ディスリート・ファイブ	8投	2
	ディスタンス メンズ・スタンディング	29m 08cm	3
上野　哲史	アキュラシー ディスリート・ファイブ	8投	2
	ディスタンス メンズ・スタンディング	54m 44cm	1
林　桃香	アキュラシー ディスリート・ファイブ	7投	3
	ディスタンス レディース・スタンディング	38m 11cm	2
上田　裕太	アキュラシー ディスリート・ファイブ	5投	5
	ディスタンス メンズ・スタンディング	46m 64cm	3
加藤　桃華	アキュラシー ディスリート・ファイブ	5投	5
	ディスタンス レディース・スタンディング	39m 16cm	3

●ボッチャ

氏名	種目名	記録	順位
伊藤　和史	ボッチャ	4	3
村上　義之介	ボッチャ	4	3

●ボウリング

氏名	種目名	記録	順位
加藤　美晴	ボウリング	525	1
南波　大翔	ボウリング	516	5

大会の様子

写真提供:JPSA／X-1

写真提供:JPSA／X-1

栃木県障害者スポーツ大会の開催時期が変わります！！

令和６年度以降の栃木県障害者スポーツ大会の開催時期について、下記のとおり変更します。参加選手募集期間については２月上旬を予定しています。（会場が確定次第、当協会ホームページによりお知らせします。）

●開催期日
個人競技：令和６（2024）年５月26日（日）
団体競技：令和６（2024）年９月28日（土）・29日（日）　※予定
オープン競技：令和６（2024）年８月24日（土）　※予定

●実施競技
個人競技：陸上競技（身）（知）、水泳（身）（知）、アーチェリー（身）、卓球（身）（知）（精）〔サウンドテーブルテニス（身）を含む〕、フライングディスク（身）（知）、ボッチャ（身）、ボウリング（知）
団体競技：バレーボール（身）（知）（精）、サッカー（知）、バスケットボール（知）、車いすバスケットボール（身）、グランドソフトボール（身）、ソフトボール（知）、フットソフトボール（知）
オープン競技：卓球バレー（身）（知）（精）（健）

※会場については調整中。

「とちぎパラスポーツ推進センター」開所

昨年本県で開催された「いちご一会とちぎ大会」のレガシーを継承し、障害の有無にかかわらず誰もが一緒に楽しめるパラスポーツを通じて共生社会の実現につなげることを目的として、６月１日（木）、障害者スポーツセンター内に「とちぎパラスポーツ推進センター」を設置しました。

当協会の駒﨑会長（左側）と県障害福祉課の上野課長（右側）

同センターではスポーツを始めたい障害者への運動の機会提供や、障害者スポーツをサポートする指導者、ボランティアの確保及び資質向上、競技団体等のマネジメントを行います。

同センターには障害者スポーツアドバイザー４名を配置し、パラスポーツ関連の相談業務を行うほか、スポーツに取り組みたい障害者と指導者やボランティアをつなぎ、競技者の裾野拡大や競技力の向上を図ることを目的として「障害者スポーツスクール」を開催します。

第48回ふるさと宮まつりパレードに参加しました！

8月5日（土）、4年ぶりに開催された「第48回ふるさと宮まつり」のパレードに、『ボッチャスターズ（ボッチャ）』、『ディスクベリーとちぎ（フライングディスク）』、『栃木レイカーズ（車いすバスケットボール）』の３団体が参加しました。

開会宣言後、東電前～宮島までの区間を様々なパフォーマンスを交えながら行進し、宮まつりに訪れた方々に障害者スポーツをアピールしました。

ボッチャスターズ（ボッチャ）

ディスクベリーとちぎ
（フライングディスク）

栃木レイカーズ
（車いすバスケットボール）

大森亜紀子選手（車いすバスケットボール）が IWBF世界選手権大会（UAE・ドバイ）に出場！

『栃木レイカーズ』の大森亜紀子選手が6月9日(金)から6月20日(火)までアラブ首長国連邦・ドバイにおいて行われた「2022IWBF車いすバスケットボール世界選手権大会」に、日本代表選手として出場しました。

「2022IWBF車いすバスケットボール世界選手権大会」は、『国際車いすバスケットボール連盟（IWBF)』主催で4年に1度開催される世界選手権であり、女子日本代表チームは2大会ぶりの出場となりました。

大森選手は初出場で「コートに立ったら全力でプレーし、チームに貢献したい。一つひとつ目の前の試合に集中して戦っていきたい」と抱負を語りました。

結果はオランダが金メダル、中国が銀メダル、アメリカが銅メダルで、女子日本代表は7位となり、前回出場（2014年）の9位を上回る結果となりました。

石坂梨紗選手（水泳）が 2023年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ベルリンで金！

『スペシャルオリンピックス日本・栃木』の石坂梨紗選手が6月17日から6月25日までドイツ・ベルリンにおいて行われた「2023年スペシャルオリンピックス夏季世界大会」に、日本代表選手として初出場しました。

「スペシャルオリンピックスワールドゲーム（SOWG）」とは、4年に1度夏季・冬季に行われる世界大会です。この世界大会は、スペシャルオリンピックスで活動する知的障害のあるアスリートが日々のスポーツトレーニングとその成果の発表の場として開かれ、7,000名以上のアスリートたちが26の競技に参加します。

石坂選手は「全力で頑張ります！」との意気込みで試合に臨み、50メートルバタフライで見事金メダルに輝きました！

他にも男女混合４×50メートルフリーリレーにも出場し、７位入賞を果たしました！

賛助会員の紹介及び募集について

皆様からの温かいご支援ありがとうございます

団体（法人）　15 団体　　※ 敬称略

芙蓉地質株式会社	栃木県水泳連盟	佐野市スポーツ協会
栃木市身体障害者福祉会連合会 岩舟支部	栃木県スポーツ協会	大野ゴム工業株式会社
(株)デンソーテン 小山製作所	大田原市 身体障害者福祉会	株式会社成岐
放課後等デイサービスきずな＋	電機連合栃木地協	栃木県パラアーチェリー協会

個人　60 名　　※ 敬称略

新村　一男	新井　恵美子	大貫　憲司
澁谷　貢一	小澤　洋子	佐藤　直久
加藤　朋子	平野　義隆	大渕　利枝
千葉　茂	黒須　髙	石橋　俊一
橋本　久夫	木下　誠一	服部　隆志
八木澤　義雄	茂呂　久雄	阿部　テル子
粒来　紀男	青木　敏久	青木　和枝
齋藤　貴範	日之西　美香	高橋　美奈子
川田　博史	青木　一男	佐々木　清美
森川　澄子	入江　容	下藤　勘二
広瀬　浩	梅山　博行	中林　忠男
伊澤　源水	土田　弘子	櫻井　康生
村上　八郎	薄井　幸子	内藤　進
畑澤　真弓	川村　博行	山田　徹
関口　絵舞	木下　卓己	大金　雪子

（令和5年10月31日現在　掲載に同意を得た個人会員45名、団体会員12団体）
氏名の掲載を希望されない方のお名前は控えさせていただいております。

賛助会員募集のご案内

会員の種類及び会費について

個　人　会　員	1口　3,000 円	団　体　会　員	1口　5,000 円

当協会では栃木県障害者スポーツ大会の開催及び全国障害者スポーツ大会出場に向けた選手の強化のほか、障害者が身近なところでスポーツやレクリエーションに親しめるよう、講習会や普及活動、またスポーツ・レクリエーション用具の貸出等の事業を行っています。

活動の趣旨にご賛同・ご支援いただける企業・団体・個人の皆様を賛助会員として募集しております。賛助会員へのご加入につきましては、お気軽に事務局までお問合せください。

＜新任職員紹介＞

藤巻　友希（令和５年９月採用）
慣れないことも多く、まだまだ学ぶことばかりですが、皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

青木　順子（令和５年11月採用）
障害者スポーツ協会のお仕事を通して、一人でも多くの人が賛同、出来るようにサポートしていければと思いますので、よろしくお願いいたします。

この機関紙は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。